

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24554
事業名	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進費					
評価担当課	所属名	市)地域振興部 区政課				
	課長名	奥木 貴史	担当者名	前田 貴大	電話番号	011-211-2252
施策名	主	地域マネジメントの推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市民が、犯罪に遭わないよう常に防犯意識をもって暮らしている割合や地域の防犯活動に参加している割合を増やしていく。			
		長期	防犯に対する関心を高め、お互いに協力し支え合い、環境の安全性を高めることにより、犯罪のない安全に安心して暮らせるまちを実現する			
	取組内容	平成21年4月に施行した「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」及び第3次基本計画に基づき、広報啓発や防犯活動の取組への支援等を実施。 ①防犯関係啓発事業 ②審議会の運営 ③「地域安全サポーターズ」の運用、暴力団排除に関する市民啓発や相談窓口等の周知 ④防犯団体への補助金 ⑤繁華街対策関連 ⑥子ども110番の家支援事業 ⑦犯罪被害者支援の啓発関係 ⑧再犯防止関係				
実施結果	今年度の主な取組として、札幌市客引き行為等の防止に関する条例の制定業務を行った。市内における客引き行為者の実態調査を実施し、有識者を交えた審議会で様々な意見をいただきながら検討を行い、パブリックコメントを経て令和4年3月30日に制定された。 また、札幌市の犯罪情勢について、ホームページや関係機関への情報提供などを通じて、市民へ広報を行うとともに、出前講座などで防犯対策について市民へ講義を行った。加えて、子ども110番の家支援事業などを実施した。					
事業実施における工夫点	札幌市客引き行為等の防止に関する条例の制定業務において、地域や関係団体から成る協議会との協議を丁寧に行った。					
対象者	市民全般	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例(以下「安全安心条例」) 札幌市暴力団の排除の推進に関する条例(以下「暴排条例」)					
他都市の状況	安全安心条例の策定状況:全政令市制定済 暴排条例の策定状況:全政令市制定済					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	10,839	15,758	11,968	57,567	
うち特定財源	48	198	198	1,087	
人工	3.0	3.0	3.0	3.0	
人件費	21,600	21,600	21,600	21,600	
計(事業費+人件費)	32,439	37,358	33,568	79,167	
事業費の内訳	令和3年度決算	①防犯関係啓発事業3,130千円、②子ども110番の家支援事業2,707千円、③審議会の運営586千円、④犯罪被害者支援の啓発関係0千円、⑤再犯防止関係0千円、⑥繁華街対策関連1,255千円、⑦防犯団体、更生保護団体への補助金4,290千円			
	令和4年度予算	①防犯関係啓発事業2,858千円、②子ども110番の家支援事業3,843千円、③審議会の運営433千円、④犯罪被害者支援の啓発関係198千円、⑤再犯防止関係3,345千円、⑥繁華街対策関連600千円、⑦防犯団体、更生保護団体への補助金4,290千円 ⑧客引き行為等防止推進事業42,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	子ども110番を活用した防犯訓練の実施回数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	8	9	9	10	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1					
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	本市の刑法犯認知件数は前年を下回っており、防犯事業の一定の成果があったといえる。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	当該事業を実施するにあたり必要最小限の経費を計上しており、事業規模は適切である。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	業務委託と担当課で直接実施すべき事業を区分し、効率的に事業を実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	犯罪のない安全で安心なまちづくりは、地域における地道な取組の継続が最も重要であるが、本市の事業は啓発等が中心であるため事業の効果が見えにくく、また、市民が安全安心なまちと感じる割合は社会情勢に大きく影響されやすいことから、安定した満足度を把握することは困難である。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	札幌市客引き行為等の防止に関する条例について、客引き行為者が減少していることから、条例の制定と日々の巡回指導の効果を確認できる一方、依然として客引きが行われている実態がある。そのため、客引き行為等防止指導員の運用や巡回指導の手法を見直し、条例の実効性を高めていく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	効率的な事業執行を行った結果、適切に執行することができた。今後も第3次基本計画の成果指標達成のため、事業を展開していく。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 第3次基本計画の成果指標達成のため、基本施策で掲げる主な取組みに基づき事業を改善していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 事業内容の効果を検証しながら、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0 千円